

ゆりはま議会

第47号

平成27年8月1日 発行
発行：鳥取県湯梨浜町議会



6月定例会

若者夫婦・子育て世代住宅支援好評

メタンガスは大丈夫？

常任委員会審議内容 町民への浸透は

一般質問 町政を問う 子ども・子育て支援制度の現状は

町民インタビュー

七夕のおねがい！

「えがおいっぱい
プールあそび」
(あさひこども園)

2

4

5

8

16

平成27年第5回6月定例会

若者夫婦・子育て世代住宅支援好評 当初予算400万円に264万円追加

平成27年6月定例会が、6月12日から22日までの11日間の会期で開催されました。

定例会に提案された平成27年度各会計補正予算などの議案を慎重に審議し、提案された8議案すべて、全会一致で原案のとおり可決しました。

また、議員発議による国に提出する意見書3件も原案どおり可決しました。

補正予算

☆一般会計

歳入歳出それぞれ2億1515万円を追加し、補正後の予算の総額を92億7932万円とする。

当初より倍増

・若者夫婦・子育て世代住宅支援事業

264万円

若者夫婦・子育て世代



親子でおでかけ（子育て支援センター）

資源の有効活用

・地熱利用促進事業

8千843万円

東郷温泉熱発電導入後の熱水2次利用に係る施設整備を、経済産業省の支援事業を活用して実施する。

〈2次利用する施設〉

水明荘：灯油ボイラーの代わりに、熱交換器を導入。冬季には露天風呂に温泉を直接利用。

龍鳳閣：現在利用している町有源泉に代わり、発電後の温泉を直接利用。

防災拠点としても

・認定こども園省エネ対策事業

3千455万円

国の補助事業により、とつごうこども園に太陽光発電設備を整備する。

また、災害時の防災拠点として機能するよう、蓄電池を設置する。

普段は発電電力をこども園で使用し、余剰電力は電力会社に売電する計画。

認定農業者を支援

- ・もうかる6次化・農工商連携支援事業
1千400万円

安定経営を目指すため、水稲以外の畑作を含め規模拡大等を計画する認定農業者への支援を行う。

不足教室を確保

- ・羽合小学校管理運営臨時経費
351万円
- ・放課後児童クラブ整備事業
327万円

羽合小学校に不足している教室数を増設するため、設計業務を委託する。あわせて、羽合第1、第2児童クラブの利用者が定員を大きく上回るため、羽合小学校敷地内に新たに施設を建設するための設計業務を委託する。

安全確保へ

- ・道路新設改良事業
440万円

国道9号北条道路事故対策事業に伴う、機能回復のための代替道路整備による移転補償費。

定住促進

- ・お試し住宅運営事業
500万円

空き家を借り上げて改修し、お試し住宅として活用することで、移住定住を検討している方に本町の暮らしを体験してもらい、定住促進と地域活性化を図る。

大丈夫か

- ・税番号制度システム整備事業
486万円

住民基本台帳番号制度システム整備事業
80万円

社会保障・税番号制度により、平成27年10月から個人番号を付番するためのシステム改修費用。

危険住宅NO!

- ・空き家対策支援事業
180万円

老朽化が進行している空き家等の解体、撤去、廃材等の処分及び跡地の整地に要する経費の一部を補助するもの。

風車復活

- ・新エネルギー施設管理臨時経費
450万円

泊にある風力発電設備の復旧に要する経費。

利用者拡大へ

- ・グラウンドゴルフふる里公園施設整備事業
204万円

スーパースライダーのそりが破損により使用可能なものが6台しかないため、新たに10台購入する。

子育て応援

- ・ゆりはま家族愛シンポジウム
150万円

家族の絆や家族愛を中心としたシンポジウムを開催し、子育てしやすい環境整備の推進を図る。



安全確保へ（長瀬新川入口交差点）



スーパースライダーを楽しむ子ども達

人事異動に伴う 補正

☆国民健康保険事業特別会計

人事異動に伴う職員人件費6万円の増額補正。

☆介護保険特別会計

人事異動に伴う職員人件費など221万円の減額補正。

☆簡易水道事業特別会計

人事異動に伴う職員人件費3万円の増額補正。

☆下水道事業特別会計

人事異動に伴う職員人件費、施設整備に伴う工事請負費など195万円の増額補正。

サービス充実へ

☆国民宿舎事業特別会計

制度改正による法定福利費19万円の減額と、施設修繕費112万円の増額。高脚テーブルと椅子の整備に伴う181万円の増額。

☆水道事業会計

昨年の雷被害による、水源地の復旧のための建物災害共済180万円の雑収入に入ったことによる収入増。
人事異動に伴う職員人件費144万円の減額補正。

☆温泉事業特別会計

長和田橋付近の温泉配管修繕のための増額分を基金積立金の減額で調整。

報告

次の6件について、報告を受けた。

・平成26年度湯梨浜町一般会計継続費繰越計算書の報告

・平成26年度湯梨浜町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

・平成26年度湯梨浜町下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告

・湯梨浜町土地開発公社の経営状況

・一般財団法人ゆりはま温泉公社の経営状況

・平成26年度湯梨浜町教育行政の点検及び評価の報告

新中学校建設現場からメタンガス

6月12日の議会全員協議会において、建設工事

中の新中学校造成現場から、ボーリング（土質）調査中にメタンガスが発生したと報告を受けた。

6月19日には、追加して行ったボーリング調査ではメタンガスの発生は全くなかったと追加報告を受けた。

・発生場所

新中学校建設予定地内（湯梨浜町長江地内）

・発生日時

6月2日（火）16時半頃

・発生ガス

可燃性のメタンガス。

常温・常圧で無色、無臭の気体。人に対する毒性はない。大きな用途の一つは燃料用のガスとして都市ガスなどに使用されている。

・内容

地下11メートル地点で発生。

Q. メタンガス噴出による、工事期間などのスケジュール変更は。

A. 実施設計を来年1月頃までにしている。そこまですべてを講じることができれば、工期への影響はあまりないと考えている。

Q. 町民への説明を丁寧にするべきである。

A. 校舎現場でガスが出た場合の事例などを見ながら進めたい。
町民の皆さんには説明し、逐一報告したい。



メタンガス発生現場（新中学校造成地）

総務産業常任委員会

6月17日ほか2回

町民への浸透は

◇天女のふる里づくり

助成金が採択になったため、事業のひとつとして天女のモニュメントを制作すると報告を受けた。



昨年開催した天女サミット

Q. 天女のふる里づくり事業が町民に浸透していないが。

A. 町民への浸透、啓発がなかったことは反省している。これから5年かけてやっていく目標のひとつ。

Q. 天女モニュメントの制作委託費は高額だが、大ききや作成時期は決まっているのか。

A. 台座を含めて3メー

収支バランスは

◇潮風の丘とまり

風力発電設備を修繕

昨年度実施できなかった修繕を行い、風力発電設備の復旧と売電の再開を行う。

トル程度を予定。場所は未定だが、人がよく来る場所にしたい。金額が高額なのは、ブロンズ製で考えているため。

Q. 修繕して、あとどれくらい使うかが課題。

A. 中電との売電契約を平成34年まで締結している。収支のバランスでは支出の方が大きく、まだ回収できていない。修繕して、稼働させたい。

Q. 今までは保険適用で直してきた。今回も保険適用になるのか。

A. 今回も保険申請はし



現在の和室宴会場（水明荘）

集客に期待

◇国民宿舎水明荘

高脚テーブル・椅子の購入

ているが、査定結果が出していない。

食も考えている。集客にもつながると思う。

Q. 70席では足りないのではないか。

A. 当初、全ての和室宴会場に設置を考えていたが、収納場所、費用の面などから70席にした。

Q. 高脚テーブル・椅子は和室宴会場のみに設置するのか。

A. 全ての和室宴会場での使用を考えている。まだ構想のうちだが、部屋

撤去に補助

◇空き家対策支援事業

補助金

老朽化が進行している建築物、長年利用されず放置されている空き家等の除却の促進に取り組み所有者等を支援するため、補助金交付をするため、補助金交付をするため、報告を受けた。

Q. 補助要件に空き家等が道路に面していること等とあるが、道路に崩れない場合は対象外か。

A. 危険家屋としての対象は、周りの住民の方に迷惑をかけるとか、道路に倒壊しそうなもの。土地の真ん中に空き家等がある場合は、危険家屋とは言わない。

Q. 所有者が申請を出してから、補助対象になるかどうかが決まるのか。

A. 町が事前調査して危険家屋として通知を出している方のみが対象になる。

苦情多数

◇スーパーサイダー

4月末から営業を再開したスーパーサイダーは大型連休もあり、5月の1か月で約1500人が利用。一方で、実際に使用可能なそりが6台しかないという判明。大型連休中にも待ち時間が非常に長いと利用者から不満の声があったと報告を受けた。

Q. そりの納品までどれくらいかかるのか。

A. 特許製品で、海外製でもあり、発注してから、2か月以上かかる。

Q. 今後、走路の修繕が必要などところも出てくるのではないのか。

A. 今回修繕したところ以外に手つかずのところもあり、傷んでいるところもある。きちんと整備計画をつくりたい。

公共施設の統廃合

◇公共施設総合管理計画について

現状の公共施設を維持しようとする、将来的には1年あたり今の約5倍経費がかかってくる。計画として、30年後に公共施設総床延面積を30%縮減する目標であると報告を受けた。

Q. 計画が決定したものであるならば、縮減の数字は議論できないのでは。

A. 全国平均を目標にすると約47%の縮減が必要になり、サービスに支障が出る。30%程度は縮減したいが、今後議論をしていきたい。

Q. 今まで保全型修繕が出来ていない。

A. それも含めて、今後維持管理、統廃合を進めていく必要がある。

教育民生常任委員会

6月17日ほか3回

少人数学級にこだわりたい

◇羽合小学校教室増設

羽合小学校には必要ない教室数26に対し、現在22教室しかなく、特別支援教室は通常教室の仕切りや、和室教室などを活用している。今回の6月補正予算で、教室増設のための設計業務委託料を計上するとして報告を受けた。

Q. 具体的にどのような形の建物になっていくのか。

A. 特別支援教室3教室を増設する。学校側から廊下をつけて設置する。

Q. 一般の教室と比べて小さいのか。

A. 一般の教室を半分に割ったぐらいの大きさ。アコーディオンカーテンで仕切れるような形になっており、それをとれば1教室としても利用できる。

Q. 少人数学級のこだわりをなくせば、ここまでの増設は妥当だったのか。

A. 国基準の人数にすれば、確かに今の教室数で入りきる。先生を増やしてきめ細かな指導にするためには、少人数学級にこだわりたい。

◇羽合放課後児童クラブ増設

利用者が多い放課後児童クラブについても、人数の分散を図るために、羽合小学校内に新たに施設を建設すると報告を受けた。

Q. 増設する教室と放課後児童クラブの施設との関係は。

A. 併設という形になる。

Q. 放課後児童クラブが使う部屋と増築する教室は兼用ではないのか。

A. 兼用ではない。

乏しい基金

◇国民健康保険事業の経営状況

Q. 国民健康保険事業の基金が極めて乏しいが、どのくらいの金額をもっとおきたいのか。

A. 国が示す金額はあるが、かなり多額。県内で

満たしているところはない。平成26年度の歳入歳出差引残額は基金に繰り入れ、保険税に影響がないようにしたいが、検討しながら積み立てていきたい。



増設が待たれる特別支援教室（羽合小学校）

多くの人に参加を

◇積み立て貯筋運動事業

がん、心臓病、脳卒中等の生活習慣病による死因が7割を占める本町の現状を踏まえ、中高年層を対象に生活習慣改善の運動教室を開催すると報告を受けた。



積み立て貯筋運動教室（羽衣会館）

Q、各種健診や町が行う健康づくり事業の参加者に、ポイントを進呈する健康ポイントラリー事業と、並行実施するのか。
A、積み立て貯筋運動に参加できれば、ポイントを進呈する。

Q、健診にひっかかった方だけではなくて、一般の方でも応募できるのか。
A、以前、国民健康保険事業で行っていたときには対象を絞っていたが、今回は一般の方にも参加していただける。

Q、本町の疾病の状況を分析した上での取り組みなのか。

A、今回は筋力を対象としている。高齢になったときに、要介護にならないようにということが主になってくる。

また、運動後に血液検査をするなど、運動による効能を認識してもらうことも目的。

Q、血液検査は毎回やるのか。

A、血液検査をするのは1回。特定健診を受けたときのデータと比較してもらう。運動のやり方を覚えてもらって、普段から取り組んでいただきたい。

医療費削減へ

◇保険事業実施計画

町民の生活習慣病予防、国民健康保険会計財政運営健全化等に寄与するため、明確な目標を掲げ目標を達成するため

に、計画を作成したと報告を受けた。

Q、生活習慣は小さい時からの積み重ねだと思つ

A、小さいころからの積み重ねが大人になってから出てくると思うが、特定健診の対象は40歳以降にしている。

Q、40歳になるまでの取り組みは現在はないのか。

A、疾病の状況は30歳ころから出てくる傾向があるようだ。一般健診を受診してほしい。

広げ 家族の愛

◇ゆりはま家族愛

シンポジウム

Q、ゆりはま家族愛シンポジウム開催の目的は。

A、毎年開催している子育て応援フェスタをやるうというところで補助事業に申請した。家庭での子育て支援を含めた講演、パネルディスカッションのほか、人形劇、昔遊び



昨年の子育て応援フェスタ

の伝承広場、弁当講習会などを予定。

Q、子育て応援フェスタは子どもが楽しみにしていると感じた。来年度はどうするのか。

A、補助事業を探して開催してきている。

今回、フェスタという名前ではなくなったが、子どもと親を対象にしたイベントはどこかですべきだと考えている。

一般 質問

町政を問う!

—質問事項—

		ページ
浦 木 靖	①放課後児童クラブの改善を	9
	②町の定住対策は	9
松 岡 昭 博	①子ども・子育て支援計画の強化を	10
	②地方創生時代における農業振興は	10
会 見 祐 子	①消費者教育への対応は	11
	②子ども・子育て支援事業推進の現状は	11
米 田 強 美	①実効性のある空き家対策の推進を	12
	②「魅力ある町」その情報発信と推進を	12
増 井 久 美	①保育士の待遇は	13
	②羽合小教室不足の改善を	13

平成27年6月定例会の一般質問は、第4日目の6月15(月)に行われ、5人の議員が登壇。町政について熱心に議論を展開した。



Q 放課後児童クラブの改善を

A 羽合小学校地内に増設



浦木 靖

2箇所で開催しており、利用者は多いが、民生委員の見守りがあり、事故や問題はない。

羽合クラブの現状は、利用者数が105人となった。環境、安全面など運営上の利点、保護者の利便性などから2箇所に分けて運営すべきと検討した。

教育委員会、学校現場と協議し羽合小学校地内に増設することとした。

答弁（教育長）

帰宅後の子どもは、行動形態の変化により戸外で遊ばなくなっている。健全育成と犯罪から守るため、高齢者クラブ、ボランティア団体など地域で活動されている団体の方と連携をとっている。

子どもたちは帰宅しても、仲間が少ない、遊び相手がいらない、ということとで家の中で過ごす時間が多くなった。この問題を解決することについて我が町では、保護者などのような話し合いを行っているのか。

答弁（町長）

放課後児童クラブについては、泊クラブはゆとりがあり、東郷クラブは



元気に遊ぶ児童（羽合放課後児童クラブ）

Q 町の定住対策は

A 自然を活用した町づくり



今滝の滝床料理を楽しむ（北福）

合2位にランキングされている。担当者も田舎が認められたと胸を張っていると聞く。このような自然回帰についてどう考えているのか問う。

答弁（町長）

「日本創生会議」が高齢者の東京圏から地方への移住促進を提言した。豊かな自然環境、ゆったりとした生活リズム、恵まれた住居、野菜栽培など田舎暮らしに憧れる人が増えた。

本町も移住フェアなど情報発信の強化、空き家情報バンク事業などに取り組む。

里山の整備、森林浴、バードウォッチングなどメリハリをつけた取り組みを考えたい。

移住・定住のイメージの方を考えてみた場合、やはり、都会にはない、田舎の自然を活用した、町づくりが大切だと思われる。

我が町でも「お試し住宅」といった事業に取り

組まれようとしているが、以前から取り組んでいる鳥取市では、「子育て世代にぴったりの古き良き田舎か」といったことを得点化し集計した全国アンケート結果において「住みたい田舎」総

計

Q 子ども・子育て計画の強化を

A 切れ目のない支援体制を推進



松岡 昭博

④子育て会議委員などに主任児童委員を入れてはどうか。

答弁（町長）

①不安や悩みを相談できない人の、把握や対応が問題であると認識。気軽に相談できる体制など、妊娠から育児まで切れ目

のない支援体制の充実・強化が必要だと考える。

計画では、支援体制の

充実に加え、新規に利用者支援事業に取り組み。

②子育て支援課で、ワンストップの体制があり、さらなる充実対策を検討したい。

③保健師・助産師・民生委員等から情報を収集。要保護児童対策地域協議会で検討。

④民生委員さんに意見を伺い、検討したい。

近年、子ども虐待のニュースがよく聞かれるが、虐待が起こらないようにする必要がある。本町では昨年度、「子育て支援計画」を策定したが、次の点について所見を問う。

①子育てについて、今何が問題で、この計画で何を充実したのか。

②町版ネウボラ（子育て包括支援センター）を設置し、子育て支援体制を充実してはどうか。

③児童虐待防止に向け、情報収集や検討の体制は出来ているのか。



親子でふれあい（子育て支援センター）

Q 地方創生時代における農業振興は

A 地方創生総合戦略で詳細を詰める



大規模農家の田植え（門田）

答弁（町長）

①集団で取り組む必要性と、助成制度などを地域で説明。集落営農組織が増加したが、認定農業者は減少。荒廃農地も大幅な増。

②安心・安全な農産物の栽培、低コスト化、新たな販売戦略の構築に取り組みたい。

③新規就農に積極的な町だとの認識をアピール。地方創生総合戦略で詳細を詰める。

④地域の資源や特徴を活かし、地に足の着いた施策が大切。積極的に町民の皆さんの意見を伺いたい。

町では今年度、第3次

のか。

総合計画の検討や地方創生戦略の作成が行われるが、次の点について問う。

①第2次総合計画の達成に向けた町の関わり方や成果の評価は。

②町農業の現状と県の振興方針を踏まえ、今後、

どのような農業を目指す

③新規就農者の確保対策や、国・県の補助対象にならない隙間部分に、積極的に取組んでは。

④町長が現場に出かけ、農家と意見を交換する現場主義が、地方創生の原点と思うが。

Q 消費者教育への対応は

A 取り組みの啓発・充実を図る



会 見 祐 子

としての「電話録音機器」を導入するのとはどうか。

答弁（町長）

平成26年に警察に届け出のあった、特殊詐欺の県内の被害額は、約1億6千万円で、前年より6千7百万円増えている。町では、毎年出前講座などを開催しているほか、町報に消費生活トラ

ブルに関する記事の掲載や、敬老会などでのパンフレット配布、告知機や広報車を利用した啓発も行っている。

県は今年度、警告を自動発信する機器を100台購入。

本町には2台配布の予定で、効果を見て今後の設置を検討したい。

答弁（教育長）

消費者教育は、大切な教育であり、学習指導要領に基づき、取り組みの充実を図りたい。

わが町の相談窓口は定着したが、特殊詐欺被害額は1千900万円と昨年に比べると倍となっている。

通信によるトラブルは、若年層に増大している。鳥取県教育委員会では平成27年度に消費者教育を取り入れる。

わが町も小・中・高への教育はもちろんリーダの育成、職域、地域へ取り組むべきだ。

日本年金機構の漏洩問題は、高齢者に不安を与えている。

悪質電話商法防止対策



湯梨浜文化大学で消費者教育

Q 子ども・子育て支援事業推進の現状は

A 地域と連携した子育て支援



高齢者と子どものふれあい（東郷小学校）

答弁（町長）

本町の子ども・子育て支援事業計画は今年3月に策定した。

働く女性が妊娠・出産期を迎え仕事をやめねばならない現実がある。

男女共同参画認定企業を増やす努力、ワークライフバランスの研修会を実施する。

登下校時の見守り、子ども園への行事参加、読み聞かせ活動など、地域と連携した活動も行われている。

子育て応援フェスタでの啓発や、「家族愛シンポジウム」の開催のほか、地域協議会など、意見を求めながら子育て支援を進めたい。

女性の能力、労力が必要とされる今、啓発推進をするのに問題点はないか。地域で支え合うことに、重点を置くところがあるが住民と行政が一体となり、子育てに取り組む具体的な施策があるのか。

キャリアある女性が結

女性の能力、労力が必要とされる今、啓発推進をするのに問題点はないか。地域で支え合うことに、重点を置くところがあるが住民と行政が一体となり、子育てに取り組む具体的な施策があるのか。

キャリアある女性が結

Q 実効性のある
空き家対策の推進を

A ガイドラインにそって対応



米田 強美

答弁（町長）

①平成27年2月26日「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が施行された。ガイドラインにより、本町の調査項目を再精査し、基準に達しているものについては「特定空き家等」として認定する。

②特定空き家等の所有者には勧告、命令に至るまでに除去や修繕などの措置を取ってもらうよう指導する。114軒のうち8軒は除去され、106軒の空き家のうち課税されているものが79軒、特例措置が27軒ある。

③協議会の設置は考えている。

①危険度の高い老朽家屋は37軒あるが、誰がどのような基準で判断されたか。空き家対策特別措置法で定めた、「特定空き家」にあたるのか。これまで、どのように対応されたか。

②今後、固定資産税の住宅用地特例からの除外、及び、強制代執行の対象となる見通しはどうか。空き家114軒の固定資産税は支払いされているか。

③協議会の設置について、予定はあるか。



空き家を店舗に自力で改修中（松崎）

Q 「魅力ある町」
その情報発信と推進を

A 幅広い分野の情報を発信

①本年「移住・交流情報ガーデン」が都内に開設され、利用者も多数あるようだ。施設のほかに、Webサイト「全国移住ナビ」もある。積極的な情報発信が望まれる。今後の活用について問う。

②魅力ある町づくりは、

県及び、町民の連携・協働が大切だと考える。

地方創生の大事なポイントだと思うが、町長の考えは。

「フルディックウォーキング」コースの除草を県と密に連携し、町民も協働してはどうか。



東郷池周辺でのボランティア活動（東郷池メダカの会）

答弁（町長）

①「移住・定住ガーデン」も活用した情報発信を検討していく。

「全国移住ナビ」は、当町においてもサイト登録を行っている。

②県との連携は東郷池の水質に関することは衛生環境研究所が、シジミや魚介類に関することは栽培漁業センターが行い、東郷湖活性化プロジェクトにも積極的に参加してもらっている。

住民との連携・協働は東郷湖一斉清掃やアダプト・プログラムなど町民として、また団体でも参画してもらっている。

草刈は県道部分は県が実施している。

Q 保育士の待遇は

A 中部5市町の真ん中



増井久美

将来的に0歳児が増え、保育士不足が起きる。これにどう対応しようとしているのか問う。

答弁（町長）

保育士の募集は、昨年の中から0歳児が増えたこと、また必要となった時に必要数だけ採用しているため。

待遇の点については日額で比較すると、中部5市町の真ん中で、その他、特段悪いという状況ではないと思う。

臨時職員の担任については、町立こども園38クラスの中で11クラスある。職員交流による資質の向上も検討してみる。

保育士不足への対応については、将来的な園児数を予測しつつ、計画的な正規職員採用、効率的な運営に努めると共に、確保の方策について早急に検討をする。

新年度になると決まって保育士募集が行われている。慢性的に不足しているという事なのか。当町の保育所臨時職員、パート職員の待遇は他市町より悪いため移動するのではないが、実態を問う。

また、臨時職員がクラス担任を任されているか聞きたい。町立以外の園も含めて職員交流を図り、資質の向上に努めるべきではないか。



プールはたのしいな（はわいこども園）

Q 羽合小教室不足の改善を

A 3学級分を増設



楽しく学習（羽合小学校）

部で22あり、普通学級の数は20教室。

特別支援6学級は、普通教室2部屋と和室教室1部屋の3教室を2つに仕切り、専任の先生の指導の下に学習をしている。

国の基準とすれば、現在の教室数でも対応できるが、本町では、少人数の学級編成としている。

今後の適切な対応を図るため、放課後児童クラブと共に教室を増設する設計経費を計上した。

答弁（教育長）

現在、教育に大きな困難が生じているとの報告はない状況であるが、今後特別支援学級3学級分増設し、教育環境の充実を図る。

切ったの対応も子どもの数や状態から考えても限界があり、早急に改善するべきである。

答弁（町長）

今年度、羽合小学校の児童数は545人、うち特別支援学級の児童は18人で、普通教室の数は全

3月議会で、羽合小学校の教室不足の改善を要求した。今回設計費が予算計上されたが、今後どう対応されていくのか問う。多くの保護者の方や関係する方々からも一日も早く改善してほしいという声を聞いている。特別支援教室を二つに仕

湯梨浜町議会委員会構成（平成27年5月8日～）

平成25年5月8日からの常任委員会、議会運営委員会委員の任期（2年間）が満了したため、5月8日開催の平成27年第4回臨時会で各委員会の委員が選任されました。

委 員 会	委 員（○：委員長、△：副委員長）					
総務産業常任委員会 （6人）	○	入江 誠	△	松岡 昭博		河田 洋一
		浜中 武仁		酒井 幸雄		会見 祐子
教育民生常任委員会 （6人）	○	浦木 靖	△	米田 強美		上野 昭二
		光井 哲治		増井 久美		寺地 章行
議会広報常任委員会 （11人）	○	浜中 武仁	△	増井 久美		河田 洋一
		入江 誠		上野 昭二		米田 強美
		松岡 昭博		寺地 章行		酒井 幸雄
		浦木 靖		会見 祐子		
議会運営委員会 （5人）	○	寺地 章行	△	河田 洋一		入江 誠
		浜中 武仁		浦木 靖		

本会議での採決結果

議案等の内容 （○：賛成　×：反対）	増井	寺地	河田	浜中	入江	松岡	酒井	上野	浦木	会見	米田	光井
集团的自衛権行使を具体化する「安全保障関連法案」に反対するよう求める請願書（委員会報告：採択）	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	議長は採決に加わらない
日本を「海外で戦争する国」にする「戦争立法」に反対するよう求める請願書（委員会報告：採択）	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	
戦争につながる安全保障関連2法案（国際平和支援法案、平和安全法整備法案）の廃案を求める意見書採択についての請願（委員会報告：採択）	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	
「安全保障関連法案」の策定中止を求める意見書	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	
※上記以外の11議案（全12議案。請願・陳情は議案から除く）は全会一致で可決及び承認しました。												



6月定例会において常任委員会に付託した請願・陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

件 名	請願者・陳情者	審査結果
集団的自衛権関連法案を国会に提出しないよう求める請願書	憲法改悪反対 鳥取県共同センター 代表 田中 暁	不採択
集団的自衛権行使を具体化する「安全保障関連法案」に反対するよう求める請願書	憲法改悪反対 鳥取県共同センター 代表 田中 暁	採択 (意見書提出)
日本を「海外で戦争する国」にする「戦争立法」に反対するよう求める請願書	湯梨浜町9条の会 代表 信原和裕	採択 (意見書提出)
戦争につながる安全保障関連2法案（国際平和支援法案、平和安全法整備法案）の廃案を求める意見書採択についての請願	新日本婦人の会 羽合班 代表 山田公子	採択 (意見書提出)
NHK受信料の全世帯支払い義務化に反対する意見書の提出について	足羽佑太	採択 (意見書提出)
地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 本川博孝 湯梨浜町職員労働組合 執行委員長 宮脇一善	採択 (意見書提出)
湯梨浜町商工会羽合支所及び長瀬地区公民館の無償譲渡について	湯梨浜町商工会 会長 中島 守 長瀬十区区長会 代表区長 信原和裕 長瀬地区公民館 館長 井坂正昭	不採択

◎意見書提出となっているものについては、議員発議で政府に意見書を提出しました。

町民インタビュー

「七夕のおねがい！」

森本 せつさん（石脇）



石脇に愛ターン(1ターン)して、ちょうど1年(7月7日)。

この地に育った人たちにとっては、あたりまえの事が私には、日々新鮮です。朝から海のほうから波の音が聞けて、山から吹いてくる風を肌を感じ、一寸足を伸ばしたら、おいしいミネラルたっぷりの天然水を、ゴクゴクそれも0円(ニコニコ)。それから、近くには沢山ある温泉で、お肌を磨き?新鮮野菜に、取れとれのお魚を頂いて、夜は空いっぱいのお星様を見る事ができ、先日は家の前で蛍を見ることができました。ラッキー!それに何よりもご近所の人たちが優しい人ばかりです。

今までは、仕事でお絵かき一筋でしたが、いまこの地に、ご縁を頂き、ボランティア三昧の日々で、私にでき

る絵を描いて、お話して、子どもからお年寄りまで笑顔になって頂くことで多くの人々との出会いがあり毎日が感謝です。

同じ志のお友達もでき「夢ちゃん」というグループも生まれ、笑いの輪がどんどん広がって、湯梨浜の人たちと共に大きな笑顔の大輪を咲かせていく一助になりたいと願っています。



アトリエの風景

議会の傍聴をお気軽に

☎ 35-5341

FAX 35-3697

メール ygikai@yurihama.jp

あなたの声をお待ちしています。

編集後記

六月定例会が終わり、地方創生事業、子ども子育て支援事業と忙しく、わが町も躍動しています。

各こども園、小学校からは、プールで泳ぐ子どもたちの歓声がひびくこの頃です。

グラウンドゴルフ、アロハカーニバル、トライアスロンなどが参加しての町おこし事業は、明るい未来を映しています。

一方火山の噴火、各地を襲う集中豪雨など防災にも気を配ることも大切です。

安心、安全に暮らせるよう頑張ります。

(記 會見)

広報常任委員会

編集委員一同